

夏季 特別寄稿

弊社は日本国内に2工場（兵庫県西宮市、神奈川県横浜市）、タイのバンコクに2工場、中国の上海に1工場の合計4拠点を保有しております。

国内工場は通信販売やネットワーク販売、中国をはじめとした海外向け商品など、特徴があり、付加価値の高い商品の生産を中心に行っております。

上海工場は中国国内の化粧品メーカーでは、技術的に生産の難しい商品など、日本クオリティの処方開発、生産技術をもって中国国内の化粧品メーカー向けの生産を行っております。

タイ工場は日本国内向けが約80%、タイ国内やASEAN向けが約20%という割合で生産しております。日本向けの生産は、バルクを日本国内工場で製造し、タイ工場に輸送して、タイ国内などで調達した資材を使用して商品を仕上げ、日本に戻すという「Made in Japan」のスキームが中心となります（左図）。

このスキームはタイ工場の稼働当初から行っており、店頭商品を中心として、低価格で大量生産の必要な商品やノベルティ商品、生産工程が複雑で人手が必要な商品などを中心に生産を行っております。弊社グループ内でも、タイ工場を生産拠点としたスキームは周知されており、日本国内ではこれまでは受注の難しかった低価格商品の受注を行うための手段となっていました。

また、お得意先様も弊社のタイ工場スキームを認識

していただいております。当初は日本の工場生産していた商品を、販売数量の増加にあわせて国内仕様と同様の容器を海外で新規で

発などを積極的にいき、売上の拡大に向けた施策が取れるといったお声をいただいております。

タイ工場に生産を移行した商品の例としてクレンジングバームがご紹介します。クレンジングバームは加温して溶解したバルクをシャ容器に流し込み、冷却トネル内を30分ほど時間をかけて進み、冷やし固めるという生産工程となること

海外工場を活用した 化粧品OEM・ODMの 時代にあわせた変化

ピカソ美化学研究所
執行役員商品開発部部长
麻生 昌弘



麻生 昌弘氏

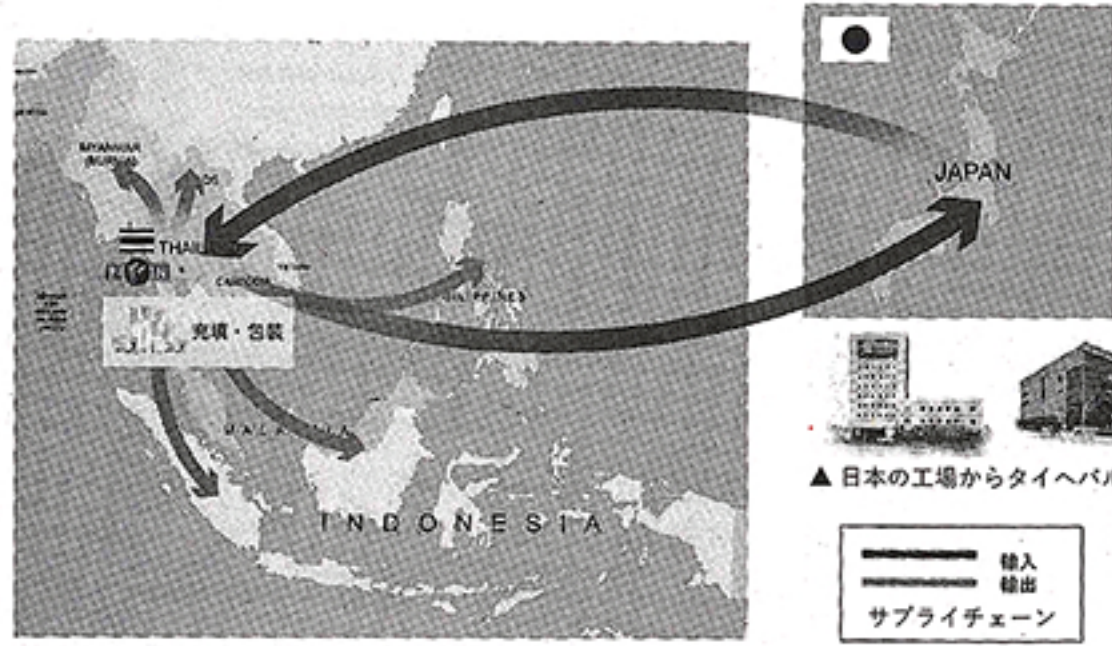
金利を起すなどして調達から、通常の充填設備ではなく、クレンジングバーム専用の充填ラインが必要となります（写真1）。

弊社はこの専用設備を日本に2工場に保有して

Made in Japanスキーム

MADE IN JAPANの生産スキーム

タイの輸出加工区 (Export Processing Zone : EPZ) で生産 = 輸入関税が免除



▲日本の工場からタイへバルクを輸出

輸入
輸出
サプライチェーン

本の記事の通り製造コストを低減し、販売数量を拡大することが出来ました。こういった新しい生産設備の設置は、タイ国内・ASEANマーケット向けの商品展開にも良い影響をもたらします。通常、タイ国内やASEAN向けの商品開発は、既存の設備で生産可能な品目で検討を行いま

写真2 MIZUMIのクレンジングバーム

MizuMi
クレンジングバーム
คลีนซิ่งบาล์ม หน้านุ่ม
ละลายเมคอัพ + กันแดดหน้า

ส:อาดล้าลิก
ถึงรุ่มมขบ

Anti-Aging Formula
บำรุงด้วยสารสกัด
34 ชนิด

写真1 クレンジングバームの製造設備



市されていなかったクレンジングバームの商品化をタイの国内通販メーカーと開発することが出来ました。当初は熱帯気候のタイでは、油系のクレンジングバームが受け入れられる心配な点もありましたが、発売から順調に販売数量を増やし、使用感やコンセプトを変えた新商品の開発も進んでいます（写真2）。

このようにタイ工場を活用した生産スキームは、タイ工場の稼働以降、通常行っている内容ですが、近年の円安の影響で、内容が変化してきています。それが、前述の①発売当初は日本生産を行っていたものの生産移行でのコスト低減、②タイ国内の化粧品メーカー向けのMade in Japan商品の展開です。

タイ工場の稼働直後のM... いった方法を行うためには、開発当初から生産国をタイに変更した際に対応可能な容器の選定などのノウハウが必要となり、資材手配をグローバル化してきた弊社の強みが生かされています。

また、タイ国内の化粧品メーカー向けの商品展開は、従来はコストの関係で、処方開発は日本、バルク製造はタイ工場で行うTechnology by Japan (Made in Thailand) という生産がほとんどでした。ただ、円安の影響で、バルク製造から日本で行うMade in Japanの生産も増えています。原産国を日本とすることで、タイ国内の市場において品質的な優位性をイメージすることができ、販売数量の増加に結び付いています。

このように弊社のタイ工場は時代や社会情勢に合わせて変化を行うことで、より永続的な発展を目指しております。

(おわり) 原文のまゝ